

物価高騰 障害者働く作業所襲う

総務省が24日に発表した5月の消費者物価指数は、昨年同月と比べて2.1%上回りました。物価高騰の波は、障害者を支援する作業所も襲っています。さいたま市で弁当宅配事業を行う「エンジュ」の里エンジュでは、食材・燃料・水光熱費の値上がりが事業利益を圧迫し、働く障害者の給料(工賃)が下がりがかねない状況になっています。

(小酒井自由)

「昨年の月から調味料が値上がりしました。特に油が高い。今は、弁当のメインになる魚が値上がりしています。仕入れ業者から、今後多くの食材で上がると思われる」と話すのは、金子施設長です。

エンジュの弁当は、季節の食材を取り入れた日替わりメニューです。野菜や魚が中心で栄養バランスが考えられています。雇の弁当宅配は独自

原価抑える努力

冷凍サーモン(80%)は、昨年4月1日以前の105円が、同日以降200円に、今月には300円に急騰しました。

エンジュは、井田さん(42)が、地域の高齢者を雇って、弁当の調理や清掃



2022参院選

利益圧迫「給料減るかも」



事業で、夕は同市の委託事業。昨年度の実績は計7万763食(1日、風約170食・夕約150食)でした。

調味料のまとめ買いや業者の食材リストから安い商品の選択、節水・節電など、原価を抑える努力をしてきました。それでも、雇の弁当代500円に占める食材・調味料費は27%を占めています。燃料費は、1.5%

「エンジュ」で弁当を作る人たち=13日、さいたま市

(昨年)から1.7%の上昇しています。物価高が利益を圧迫しています。

「赤字ぎりぎり」

金子施設長は、雇の弁当の値上げを検討しながらも、年金が下げられた配食利用者のごときを考えると「赤字ぎりぎりだが、価格転嫁に踏み出せないでいる」と明かします。



弁当を宅配する「エンジュ」の人たち=13日、さいたま市

「消費税下がれば負担軽くなる」

与が出せない恐れが出てきました。物価高に対して行政からは補助金などの支援はありません。

「消費税が下がれば負担が軽くなる」と金子施設長は言います。

エンジュで弁当箱を洗う仕事をしている佐藤弘樹さん(42)は、月3千500円ほどの給料を仲間との食事に使ったことが楽しみです。

「給料日に、気分知れた仲間とファミレスに行って会話を済ませるのが、私の貴重な機会。駅前の大型家電量販店に行くと、サンダーショッパーズみたいな商品があるのが気分転換になっています。給料が下がったら気軽に出かけられなくなる」

金子施設長は、岸田自公政権が軍事費を倍増させればその分、社会保障費を削るのではないかと懸念します。

「政府は、障害年金や生活保護費を引き上げるなど、福祉サービスを充実させて、誰もが安心して暮らせるようにしてほしい」